

東六甲横断 生瀬から逆瀬川へ

第 56 回 武庫川エコハイク

2011. 12. 10. エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km²。篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門（むこみなど）」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

2 級河川だが流域に阪神地帯を抱え流域人口では全国第 10 位である。「阪神間の母なる川」である。上流から三田盆地までは緩やかに流れ、中流には武庫川渓谷で V 字谷になる一風変わった川である。この渓谷は六甲山の隆起とともに武庫川に洗刻された先行河川である。ここに県営ダムを作る計画があったが豊かな自然環境を破壊することで反対する市民運動が持ち上がり、県は流域住民を含めて武庫川流域委員会を設置して 2 年半にわたり協議した結果、平成 22 年 10 月、ダムは検討に時間がかかることから、20 年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなり、平成 23 年 8 月正式に決定された。

生瀬宿 江戸時代の有馬街道、丹波街道の宿場町のひとつ。阪神淡路大震災の前までは古い町並みが残っていたが、震災の被害にあい現在はその面影が失われている。

生瀬用水 江戸時代から生瀬宿に導水する用水。一時は簡易水道として使われていたが、斑状歯問題（フッ素混入）が発生し、丸山浄水場からの上水に切り替えられた。現在の用水は農業用のほか浄橋寺の池などに使われている。現在の取水は赤子谷川第 3 堰堤である。

生瀬温泉郷石碑 赤子谷川が太多田川に合流点近くに生瀬温泉郷石碑がある。明治時代にこの地に温泉の計画があったが立ち消えになった。今も冷泉が湧き出しているという。太多田川上流に蓬萊峡温泉があったが、現在は尼崎信用金庫保養所。

赤子谷川 太多田川の支流のひとつ。六甲山系から流下する。今回は右俣を遡るが左俣は滝やゴルジエがあり上級者向き。

太多田川（おたたがわ）有馬街道が川筋を通り、交通の難所で「四十八ヶ瀬」とか「四十八飛び」といわれていた。「うたたび（転び）川」から「太多田川」となったともいわれる。船坂集落を源流として全長約 5km。

琴鳴山と赤子谷（伝承）平安時代の話、京に左大臣萬里小路（までのこうじ）盛通公に通磨という若者がいた。この若者が美しい歌女の浅茅と恋を語るようになった。ところが二人の身分の違いからその仲は許されず、二人は有馬の湯に安住の地を求めて楽しい日を送るうち、可愛い子どもが生まれた。しかし通磨は病に倒れ亡くなってしまった。悲しみ暮れていた浅茅は気を取りなおし、京に帰って幼子を立派に育てようと、秋の中頃有馬を出て京に向かった。蓬萊峡のはずれまで来た時、背中の子が急に泣き出し息を引き取ってしまった。全ての希望をなくした浅茅は山に登り都の方を眺め、両親に先立つ不孝を詫言、夫や赤子、自分のために生者必滅の曲を奏でた後、死んでいった。それからはこの辺りを通る旅人の耳に、この山から悲しげな琴の音と近くの谷からは母を慕って泣く赤子の声が聞こえるようになったという。山を琴鳴山、谷を赤子谷と呼ぶ。

この事業はコベルコ自然環境保全基金の助成を受けています

六甲縦走路 六甲山上を宝塚と須磨浦公園まで結ぶ縦走路。約 56km。

譲葉山 標高 514m。清少納言「枕草紙」15 段に見られる。「峰はゆずるはの峰、阿弥陀の峰、・・・」とある。ゆずるはには 2 説あり、もう 1 説は淡路島諭鶴羽山ともいわれる。

岩原山 標高 573m。宝塚市の最高峰、縦走路から少し北へ入りこんだところにある。頂上からの展望はよくない。

岩倉山 標高 488.4m。山名の由来は「神が座す磐座（いわくら）に由来していると言われている。頂上には小規模な祠がある（3等三角点）。近くに阪急電鉄の反射板がある、展望よし。

白瀬川 行者山の北側から流下する逆瀬川の支流。宝塚ゴルフ場内で逆瀬川に合流する。夏になると蛍が舞う川。白色の風化花崗岩の地形を流れる川の意か。

行者山 標高 415m。六甲山縦走路から南にのびる尾根にある。この辺りは岩倉山 488.4m など山岳宗教の印が多い。

千石ズリ かつて六甲山がはげ山のころ、花崗岩からなる六甲山が木の伐採により禿山になったため、山崩れが多発し、この辺りは一雨千石の石が流れたことから「千石ズリ」と呼ばれている。兵庫県は治山治水の必要性を認めて大規模な砂防工事を行った。

焼石原 千石ズリのひとつ。千石ズリの痕跡が残る。

六甲山グリーンベルト事業 戦後六甲山周辺の宅地開発が進んだことから、土砂災害防止のため国の六甲砂防事務所と兵庫県は「六甲山グリーンベルト事業」を行っている。

ゆずり葉の森 白瀬川谷を中心とした「ゆずり葉の森」も「六甲山グリーンベルト事業地」のひとつとして 2006 年から地元の市民団体「櫻守の会」と兵庫県が「ひょうごアドプト」の協定を結び森の整備に当たっている。兵庫県レッドデータブック 2010 植生群落里山林 C ランク。

櫻守の会 里山整備ボランティアグループ「櫻守の会」は 1999 年桜の園「亦楽山荘（えきらくさんそう）」開園を機に結成され、桜の園を初め市内 4 箇所毎月 5 回里山整備活動を行っている。次世代の子どもに伝えるため毎月ゆずり葉の森で「親子で森づくり体験活動」を、また小学 3 年生の環境体験学習も引き受けている。

宝塚ゴルフ場（宝塚ゴルフ倶楽部）大正 15（1926）年宝塚右岸の住宅開発などを行った平塚嘉右衛門等によって宝塚ホテルの社交の場所として宝塚倶楽部が設立された。その中にスポーツを楽しむ同好会が作られ当時果樹園だった今の宝塚ゴルフ場の南東に 3 ホールのコースが作られたのが宝塚ゴルフ倶楽部の始まり。第 2 次世界大戦当時鳴尾競馬場が飛行場となりその代替地として逆瀬川競馬場となったり、終戦後は進駐軍の専用ゴルフ場となったりしたが昭和 26（1951）年現在のゴルフ場となった。

逆瀬川 六甲山系大平山南側を源流として花崗岩の六甲山東麓部を流下し宝塚ゴルフ場を経由して宝塚市で武庫川に合流する。延長約 6.5km、標高差約 200m の急傾斜の河川。川が逆流するとか流れが早いことから「逆瀬川」の名前がついたといわれる。

良元用水取水口 逆瀬川合流点すぐの堰堤右岸に良元用水の取水点がある。良元用水は武庫川右岸の良元地区の農業用水である。